



クリストファーこども園 「初年度の歩みとこれから展望」



聖隸クリストファー大学附属クリストファーこども園は、県西部初の幼保連携型認定こども園として今年4月に開園しました。「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」を基本理念に掲げ、新しい試みに対する意欲を持った32名の教職員たちが123名(11月1日現在)の園児たちと、幼稚園と保育園の良さを生かした新しい形の保育・幼児教育の実践に取り組んでいます。今回は、今までの歩みと今後の展望について、太田雅子総園長、武田真理子第一園長、今西あゆみ第二園長に語り合っていただきました。



●クリストファーこども園 第二園長
今西 あゆみ

●聖隸クリストファー大学社会福祉学部
こども教育福祉学科長
●クリストファーこども園 総園長

太田 雅子

●クリストファーこども園 第一園長

武田 真理子



発行者
学校法人聖隸学園
聖隸クリストファー大学・大学院
聖隸クリストファー中・高等学校
聖隸クリストファー大学附属
クリストファーこども園

〒433-8558
浜松市北区三方原町3453
電話 053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

聖句

わたしについて来たい者は、自分を捨てて、わたしに従いなさい。

(マタイによる福音書

一六・一四)

幼稚園・保育園が一体化

—認定こども園とはどのような施設なのでしょうか?

太田 ●二〇〇六年度にできた新しい法律に基づいて、教育と保育を一体的に行うことで子育て支援を中心とした新しい施設です。四つのタイプがありますが、クリストファーこども園は幼稚園と保育園の連携型です。こういう施設ができる背景の一つは、保育園の待機児童が地域によっては解消されていないことです。幼稚園の教育は文科省の定めでは基本的に四時間なので、長時間働きたいお母さんにとっては帰りが早すぎます。そこで、預かり保育、延長保育という形で保護者のニーズに合わせて保育時間を延長することによって就労を可能にしたり、また、育児を負担に感じている方にはリフレッシュしていただくなど、そのような子育て支援的な背景もあって作られた施設です。

—在園児数はどのくらいですか?

太田 ●全体の定員が二百二十五名で、十一月一日現在の在園児は百二十三名です。幼稚園の方は三歳から入りますので、四、五歳児はまだ定員よりも少ないです。幼稚園と保育園は別々に募集しますが、活動はすべて一緒に行います。

—認定こども園とはどのような施設なのでしょうか?

太田 ●二〇〇六年度にできた新しい法律に基づいて、教育と保育を一体的に行うことで子育て支援を中心とした新しい施設です。四つのタイプがありますが、クリストファーこども園は幼稚園と保育園の連携型です。こういう施設ができる背景の一つは、保育園の待機児童が地域によっては解消されていないことです。幼稚園の教育は文科省の定めでは基本的に四時間なので、長時間働きたいお母さんにとっては帰りが早すぎます。そこで、預かり保育、延長保育という形で保護者のニーズに合わせて保育時間を延長することによって就労を可能にしたり、また、育児を負担に感じている方にはリフレッシュしていただくなど、そのような子育て支援的な背景もあって作られた施設です。

あなたは自分に靈のあることを知っていますか。靈と心は違います。靈は神から与えられている「生きるエネルギー」のようないふものです。目に見えませんがたしかにあるもので、体や心より重要な働きをしています。「靈が沈み込むと骨まで枯れ」と教えられています。

靈が沈み込まないように、「神さま、私の靈に『聖靈』を送り込み、私の靈を元気づけてください」と祈りましょう。

聖書のことば

聖隸学園宗教主任 鈴木 崇巨

「喜びを抱く心は体を養うが、靈が沈み込んでいると骨まで枯れる。」

(箴言一七・二二)

「病は氣から」とよく言われます。聖書にも同じようなことが言われています。「喜びの心が体を養う」。若いときは心が敏感で、小さなことに喜びまた悲しみます。いやなことがあると落ち込んでしまいます。そんなときには、「神さま、私の心を明るくしてください」と祈りましょう。できる限り私たちは喜びの心を持つよう努力しましょう。

（マタイによる福音書

一六・一四）

武田●子どもたちにとって幼稚園と保育園は全く区別が無く、子どもたちは「早く帰る子」「遅く帰る子」というような形で認識していると思いますね。

——ども園の一日はどうのような感じですか?

今西●○一二歳児は朝七時から夕方七時までの間の、保護者の勤務時間プラス送迎時間が保育時間となります。順次登園、順次降園になるのですが、朝早くと夕方遅くは合同で保育し、その間のコアの時間は年齢に応じた活動ができるだけ小集団で、その時に応じた担当制で行っています。朝と午後のおやつと午睡があります。お散歩カーペットに乗せて、近所に馬や牛を見に行ったりすることもあります。坂があるので子どもは菜ですが、職員はかなり気力体力を要します(笑)。

二歳児になるとだんだん歩いて行ったりしますね。武田●二・四・五歳児は早い子は朝七時から、だいたい八時から九時の間に登園し園服から着替えた後は部屋や外で自分のしたい遊びをとことん楽しめます。自主的に主体的に遊びを展開していくいろいろなことを学ぶ大切な時間です。日によってその中に礼拝の時間や絵画や音楽運動など集団での活動もあります。昼は管理栄養士のもとで作られたおいしいランチを、ランチルームやお部屋でいただき、その後、早く帰る子たちは静かな遊びをして一時に降園。預かり保育や保育園の子たちはお昼寝をした後におやつがあり、その後は総割り保育で異年齢の子と交わりを持つて遊びながら、お迎えに合わせて順次降園となります。

——開園から今までの手応えはいかがですか?

武田●本当に神様に守られてきたことを実感します。子どもたちが今日も一日充実してけが無く過ごせるように毎日祈りながら過ごして、おかげ様で無事に過ごせたなと思います。その中で子どもたちの心も体も大きくたくましく

なったなということをとても感じます。

今西●今年四月は全員が新入園児でした。先生たちはおんぶに抱つこというような形で一齊に慣らし保育。園内が泣き声で大変でした。時が過ぎ、ねんねしていた子がハイハイするようになります。

——ハイハイしていた子が歩けるようになります。朝の受け入れの時に大泣きしていた子たちはお母さんには「バイバイ」と言えるようになったり、それぞれの先生のところに「先生!」と寄つて行く姿が見られるようになつたりして成長したなどを感じられます。

太田●園舎が建つたのは三月の終わりでしたので、三日ぐらいで荷物を運び込み、子どもたちが来るまでに一週間もありませんでした。準備期間が本当に短かったです。

武田●先生たちのこともまだわからぬし、建物も新しくてどこに何があるかわからないし、大きなスタートでした。それと思うと本当に落ち着きましたね。みんなが一つになって具体的な方向が見えてきた気がします。保護者の方から、子どもの成長をうれしく感じたというお手紙をいたく機会もあり、とても励みになっています。

——キリスト教の教えを基本に順調な活動を展開

——プレイデーや夏祭りはいかがでしたか?

武田●プレイデーは一

般的な運動会のイメー

ジとは違い、「一人一人の輝き」をテーマに、園庭を使って、いつも遊んでいる運動的な

もの、たとえばジャンプ得意な子、二輪車に乗れるようになった子、縄跳びがたくさん

子、縄跳びがたくさん



▲プレイデーの様子

跳べるようになった子などがそれを披露できる

ような内容を企画しました。残念ながら当日雨が降ったためホールで行ったのですが、子どもたちは戸惑わずに、自分らしさを出せたと思います。

今西●縮小されてむしろ近くで子どもを見られたい、きっと神様のおかげでしたね。

太田●夏祭りは子どもたちが地域や家族の人と一緒に楽しいひとときを送るということが主なねらいなのですが、保護者ボランティアの方が手作りの自動販売機やモグラたたきなどのゲームを作ったりして、かなり協力してくださいました。子どもたちは踊りを披露しました。

今西●夏祭りの時も途中から雨が降つて中に入りましたね。入園式も雨でしたし、雨が多いですね。

太田●雨降って地固まるということですね(笑)。——特色の一つに、自然体験活動がありますね。武田●四・五歳児には田植えの経験をぜひさせたいと思い、渋川に田んぼを借りて五月には代々木の成長を見守り、九月には稲刈りをしました。十一月の収穫感謝祭の時にそのお米を捧げて礼拝をして、おにぎりパーティーをしました。また、聖隸クリストファー中・高等学校の畑を借りて高校生のお兄さんやお姉さんとサツマイモの苗を植えて栽培したり、ザリガニ釣りに行ったり。園の畑で野菜も育てています。夏にはナスやトマトを収穫し、焼いて食べました。自分たちが採ってきたものを目の前で調理すると、普段は口にしないものでも食べますね。自然に触れる経験を通していろいろ学んでほしいし、最終的には自然の背後にある神様の大きな存在というものに気づいてほしいと願っています。

太田●園目標の一つが「いのち」です。実際に自分たちの手で栽培して口に入るまでを体験し、自分たちのいのちがさまざまなものに支えら

れていることを

知り、いのちつながりに感謝す

るという目的で栽培活動を行

ています。そして、このようないろいろな恵みを与えてくださいます。

太田●母の日や花の日、収穫感謝祭なども、子どもたちと礼拝を守つて感謝します。収穫感謝祭では野菜を持って老人施設を訪問して歌を

歌って交流したりといふことも、この園ならではの特色かと思います。また、聖隸学園の宗教主任の鈴木崇臣先生に月一回来ていただいて聖書のお話を聞いたり、園長がお話をしたり、牧師先生などいろいろな方から聖書のお話を聞いたりしています。礼拝の時間が子どもたちも大好きです。礼拝も大事にしていますし、

——キリスト教の教えが基本ですね。

武田●母の日や花の日、収穫感謝祭なども、子どもたちと礼拝を守つて感謝します。収穫感謝祭では野菜を持って老人施設を訪問して歌を歌って交流したりといふことも、この園ならではの特色かと思います。また、聖隸学園の宗教主任の鈴木崇臣先生に月一回来ていただいて聖書のお話を聞いたり、園長がお話をしたり、牧師先生などいろいろな方から聖書のお話を聞いたりしています。礼拝の時間が子どもたちも大好きです。礼拝も大事にしていますし、子どもとの関わり方、職員間の関係、行事など全てにおいてキリスト教が基盤となります。

——大学とはどのように交流していますか?

太田●今年は看護学部、リハビリテーション学部の学生を実習で受け入れました。子ども教育福祉学科の正式な実習は来年からですが、ボランティアは随時受け入れて、触れ合いを通して子どもについて学んでいます。また、子どもたちの発達などについてリハビリテーション学部の先生に専門家としてのアドバイスや、全職員を対象にした勉強会などもしていただいている。これから大学の方でもテーマを持って現場と関わる、研究や実習を考えていくでしょう、そういう体制を一緒に作っていく「とも」の園の課題



▲自分たちが栽培したサツマイモを収穫しました。

題だと思います。

——課外活動でイングリッシュ・プログラムを始めたどうかがいましたが?

太田●聖隸クリストファー中・高等学校のイメージプログラムを担当されている先生が講師なので、体を動かしながら「Stop」「Walk」など動作と言葉をつなげていくというプログラムが特色です。英語の学習が目的ではなく、異文化や言語に触れる中で異質なものに対する抵抗感を無くすこと、そして人に対しても、自分と違う人を排除するのではなく、興味を持つて開いていく姿勢を育てたい”ということが一番のねらいです。

武田●三～五歳児が対象ですが、思った以上に希望者が多く、全体の約六割が参加していますね。子どもたちは「今日はイングリッシュ！」と言つて、とても楽しんでいます。

——保護者の方と園の関わり方はいかがでしょ

うか?

武田●働いている方が多いので、行事のお手伝いなどもできる方に参加していただいています。

素晴らしい力を持つていらっしゃる保護者の方々にたくさん助けていただきました。いろいろなことを語りながら作業できる時間は園としても貴重でした。今後はそういう機会をもっと増やしていきたいです。

今西●縫い物ボラン

ティアで、ベージュントの衣装やおままで

玉があつて、玉入れの縫つてください間にできたり、お母さんたちの力はすごいですね。ボランティアや



▲アジア学院の研修生たちと交流しました。

——今後課題やビジョンはいかがでしょうか?

太田●先生たちは新卒の方や他の幼稚園、保育園から来た方などみんな違うバックグラウンドを持っているし、正職員、準職員もいます。み

新しい保育・ 幼稚教育をめざして



▲礼拝の様子

んなが一つの思

いのもとにそれ
の持ち味や
強い部分を生か
し合えるような
集団になるために、

教育方針や情報
を共有して一つ
の方向へ向かえ

るチームワーク
作りが一番大き
な課題だと思いますね。また、コアの時間はクラ
ス担任がいますが、延長保育の時間などはどの
先生も異年齢集団を担当します。先生たちが、
○歳児から六歳児までそれぞれに発達の違う
子どもたちに対しきちんと対応保育ができる
オールマイティーになってほしいと考えています。
今西●また、乳児、未満児にとって家族的なく
つろげる空間をさらに作るために環境を整え、
保育のやり方を考えていくことも今後の課題
ですね。

武田●大学とも共同研究を進め、先生たちと
ミーティングしながら、より良い〇・一二歳の子
どもたちの環境作りを行っているところです。
武田●それから、朝七時から夜七時まで十二
時間開いている中で、長時間保育だけのローテー
ションではなく、認定こども園として二つを合
わせたときに職員がどう動いていったらいいの
か、ということが課題ですね。

今西●県内の他の認定こども園は幼保連携
型でも幼稚園部と保育園部が分かれていると
思うのですが、この園はあえて分けずに一緒に
しているので職員配置など難しいところが出
てきます。けれどもそこをなんとかやりたい
と思います。今まで無かった新たな挑戦。これまでに

——今後課題やビジョンはいかがでしょうか?
太田●乳幼児期は本当に大切な時間です。充
実した幸せな時間を子どもたちが過ごせるこ
とに、その後の人生の中に何か豊かなもの
へのつながっていくのではないかと思います。
太田●乳幼児期は本当に大切な時間です。充
実した幸せな時間を子どもたちが過ごせるこ
とに、その後の人生の中に何か豊かなもの
へのつながっていくのではないかと思います。
武田●子どもたち一人一人も保護者も職員
もみんな神様に選ばれここに集められたのだ
と信じます。スタッフも子どもたちも保護者も
互いに愛し合って、みんなでいいものを作つてい
きますので、どうぞ見守ってください。競うわ
けではないですが、日本一の、自分たちが誇れ
る園にしたいと思います。

クリストファーこども園は、保健
医療福祉の分野で常に時代を切
り拓いてきた聖隸学園のいわば
新たな挑戦。これまでに無かつた
子どもたちの新しい育ちの場が、
どのように発展していくのか、大
きな期待が寄せられます。

入園に関するお問い合わせ

クリストファーこども園 総務課まで
TEL.053-430-1700(代)



「一人一人が主役の学校」をめざして

聖隸クリストファー中学校 校長 大木島宣弘

四年前に開設準備室で創案した学校案内の表紙は「聖隸が中学校をつくります」というフレーズで始まっています。その裏側の上段は「一人一人が主役の学校」という学校のあるべき姿が掲げられ、これが学校案内を貫いています。「聖隸が生徒が主役となって活躍する学校を創造するのだ」という思いを軸にして、これまで三年間、学校運営に当たってきました。

完成年度を迎えた本年度、一人一人が主役となって活動する姿が、随所に見られるようにならってきました。四月初めの対面式では、上級生が役割を分担して歓迎用の飾り付けをしたアーチを作つて迎え、手作りのゲームを通して交流を深めました。自分たちで新入生を迎える入れるのだという意識が漲つており、私たちただ見守るだけでした。

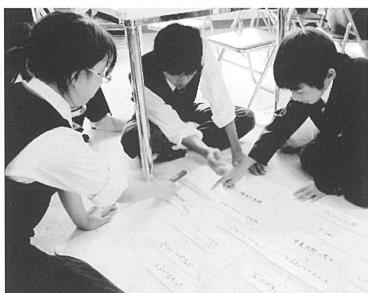
対面式では受身だった一年生が、十月には能動的になっていました。中学校における生徒総会は、生徒会執行部並びに専門委員会が、活動方針や活動計画を提案し、質問などは一切無く承認され予定時間内に終るのが大半ですので、本校の生徒総会もそうなるのではないかと危惧しながら見守っていたのですが、質疑応答の段になると、一年生の男子一人の質問を皮切りに八人が次々と質問し、二年生もそれに押されたかのように質問する生徒が現れてくれました。回答に窮して委員長が副委員長と相談するという微笑ましい場面もあり、予定した時間を十五分もオーバーして終わるという状態でした。

このように、活発に質問などが成されるということは、生徒会の一員であるといふ意識や、提案に基づいて活動するの他でもない自分自身であるという意識、即ち扱い手意識の表れであり、一人一人が主役となって楽しい学校生活を創造していく、という意識が芽生えてきていることの証であると思いました。

三年間かけて敷いてきた高等学校に通じるレールを、生徒一人一人が主役となつて笑顔進み、将来的に自己実現を図ることを期待して見守っている昨今です。

「人に役立つ」ためにはまず「よき隣人」たれ

聖隸クリストファー中学校 教頭 茨城久一郎



中学校の育てたい生徒像「グローバルな社会のリーダーとなつて人のため、社会のために役立つ生徒」実現のための体験的活動として、本校では中学二年生の時に「アジア学院ワークキャンプ」を実施しています。栃木県にあるアジア学院（ARI）とは、アジア・アフリカなどで活躍する農村指導者を招き、研修を行っている途上国農村リーダー養成機関です。

昨年度中学二年生（期生）はARIの研修生と共に作業を通じ「人に役立つ」実践を体験し、その後の同研修生の本学園訪問の際には、再会を喜び英語を使って交流会を持ちました。

今年度ARIは震災による建物損傷で中学生受け入れ困難なため、愛知県にあるアジアの保健・福祉関係ワーカー養成研修施設、アジア保健研修所（AHI）で研修を行いました。研修は「人に役立つためにはまず良き隣人となること」とのAHIインストラクター中島氏の研修主旨に添つたグループワーク中心のプログラムでした。良き隣人としての言葉づかい、隣人としてアジアの人の意識、一年後の自分のためのアクションプラン等、生徒たちは自分の問題として真剣に取り組みました。

研修を終えた満足度は4点満点で平均3.3点と高く、大変意義深い研修でした。

聖隸クリストファー中・高等学校 2012年度入試日程

	出願期間(必着)	選抜期日	合格発表	入試手続期間
中学校(後期選抜)	12/13(火)~1/5(木)	単願 1/7(土) 併願 1/9(月・祝)	1/12(木)	1/12(木)~1/20(金)
中学校(後期選抜)	12/13(火)~1/20(金)	1/22(日)	1/27(金)	1/27(金)~1/31(火)
高等学校	2/1(水)~2/2(木)	学力検査 2/8(水) 面接 2/9(木)	2/17(金)	単願 2/17(金)~2/20(月) 併願 3/15(木)

聖隸クリストファー中・高校 Topics

Topics

**男子
バレーボー**
田川明浩
監督

まずはこの場を借りて、私たちが全国大会に出場した際には、多くの方にご支援いただきておりますことに心よりお礼申し上げます。おかげさまで、五年連続で春高バレーに出場することになりました。

男子バレー部は「青春の夢に忠実であれ」を合言葉に、全国制覇を目指し活動しています。十八名の部員のうち九名は県内外の遠隔地から入学し、多くの方の協力を得て下宿生活を送りながら日々勉強と部活に励んでいます。部員の中には中学時代に野球、サッカー、バスケット、陸上などの他種目で活動していて、高校からバレーを始めた選手もいます。バレー部では中学時代に何をしていくかと「聖隸でバレーをやりたい」という生徒の気持ちを重視し、積極的に受け入れています。「意思あるところに道は開ける」との言葉を証明するように、彼らは意思も強く、決してへこたれません。そして一年もしないうちにレギュラーとして活躍し始めます。



専属トレーナーによる体作り、日々の技術練習に加え、いかに正しくメンタルをコントロールできるか。それらを高められたとき、目標が近づいてきます。今後も明るいニュースを学園内に届けられるよう、頑張ります。

**男子
サッカーボー**
小阪昭典
監督

私は目標は全国高校サッカー選手権大会です。九月からこの大会の静岡県予選が始まりましたが、毎年メンバーを選考する際に

は頭を悩ませています。

ある選手がいました。彼は、一年生の頃は本当に取り組み方も甘く、学校生活もいが減でした。ところが、先輩達の涙を見ながら何か感じて成長していました。彼は三年生になり最後の大会を迎えるましたが、メンバーから外されました。

メンバー発表の翌日、彼は普段通り大きな声を出し、必死にボールを追いかけていました。気持ちが落ちているのを一切、表には出しませんでした。三年生としての自覚、責任感がそうさせたのだと思います。私は「こんな人は変わらぬのだな」と嬉しい気持ちでいっぱいでした。その日のミーティングで後輩達に「今まで一番泣いてました。彼の努力する姿を後輩達は見ていたのです。彼はメンバーに入る以上の結果を残しました。私はこういうことが社会に出来るにあたり、とても大切なことだ

と思っています。

新チームがスタートしました。先輩達が残してくれたものを積み重ね、ペースト十六の壁

を高められたとき、目標が近づいてきま

ります。今後も明るいニュースを学園内に届けられるよう、頑張ります。



専属トレーナーによる体作り、日々の技術練習に加え、いかに正しくメンタルをコントロールできるか。それらを高められたとき、目標が近づいてきます。今後も明るいニュースを学園内に届けられるよう、頑張ります。

**女子
ソフトボーラー**
中山令
顧問

私が部活指導で最も大切にしていることは、当たり前を徹底し、心があるチームを作ることです。学校生活がしっかりと

いなければ、部活で勝てるわけがありません。「当たり前のことを当たり前にやる」こと

れを常に意識させています。これまで何度も逆転サヨナラ負けを経験し、あと一歩のところで勝利を逃してきました。負けたのには必ず原因があり、何が足りないのかを見直し、変

化を求める

ことが必要

となります。

負けたからこそ得られ

るものがあり、負けたからこそ成長で

あるのだと

負けたからこそ成長で

あるのだと

信じて指導にあたつて



**少林寺拳法部
長松孝明
顧問**

私が部活指導で最も大切にしていることは、当たり前を徹底し、心があるチームを作ることです。学校生活がしつかりして

手のように自由に技を使う「運用法」もありますが、それが最終目的と言うわけではありません。演武では形がその意図のとおりに決まることが重視されます。それはたとえひとりで行う単独演武であっても厳しい自己修練です。組演武の稽古でも生徒達の手足にあざの絶えることがあります。それはたとえひとりで育ててこられた太田監督の下、生徒達が日々取り組んでいることは形に則った修練です。空手の組

手のように自由に技を使う「運用法」もありますが、それが最終目的と言うわけではありません。演武では形がその意図のとおりに決まることが重視されます。それはたとえひとりで育ててこられた太田監督の下、生徒達が日々取り組んでいることは形に則った修練です。空手の組



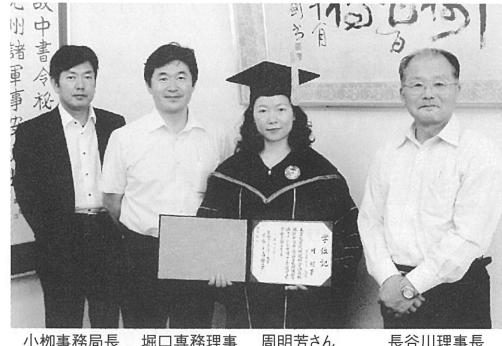
西部大会優勝を果たしました。生徒たちの勝つて泣く姿を見て、チームの成長を感じると共にこれまでの悔し涙があつたからこそだと思っています。でも、これはただの通過点に過ぎず、まだまだ道は続いています。これからも生徒と一緒に学ぶ・成長するという気持ちを常に持ち、指導にあつていています。そして、次の舞台で生徒と歓喜を味わいたいと思います。今後もよろしくお願ひいたします。

少林寺拳法部をここまで育ててこられた太田監督の下、生徒達が日々取り組んでいることは形に則った修練です。空手の組

大学の交流協定締結校である第三軍医大学からの 初めての留学生、周明芳さんが 大学院博士後期課程を修了しました。

2008年度より本学大学院保健科学研究科で学んでいた周明芳さんが、2011年9月博士後期課程を修了し博士の学位(看護学)を取得しました。本学交流協定締結校である第三軍医大学(中国重慶市)看護学部准教授の周さんは、保健科学研究科博士後期課程の1期生として入学し、藤本看護学研究科長の指導のもと周産期看護について研究を重ねてきました。9/14(水)に行われた博士論文発表会で博士論文「中国都市部におけるNICUに入院した早産児の母親への育児支援プログラムの開発」について発表しました。

発表会後は有志の方による周さんのお別れ会が温かい雰囲気のなか行われ、互いに研究を支え合ってきた院生の



小柳事務局長 堀口専務理事 周明芳さん 長谷川理事長

皆さんや本学教職員と日本での研究や生活を語り合い帰国前のお別れをしました。帰国後は、聖隸で学んだことを活かしながら看護学生の指導・育成と中国の周産期看護の発展に努めたいとのことです。



皆様、その後お元気でいらっしゃいますか？早くも帰國後2ヶ月経ちましたが、聖隸にいた3年間、先生方や職員の皆様、友人達に大変お世話になりましたことを昨日のことのように感じています。

指導教授の藤本栄子先生の丁寧なご指導や先生の学問探求に対する厳密的な姿勢、そして臨床実習、施設見学、ボランティア活動等を通じて、看護学生として、看護教育者として、看護職としてたくさん学ぶことができました。聖隸に留学できたことは私の一生の誇りで、皆様に出会えたことは私の一生の財産です。思春期に入ったばかりの息子に怒られると「日本に戻りなさい」と



よく言われます。その時、涙が出そうになりますが、「やはり日本は私の第二故郷、聖隸は私の第二母校かなあ」と強く思います。

今は、中国重慶にある第三軍医大学看護学院で看護教員の仕事に復帰し、ようやく、規律厳しい軍隊の管理や反抗期の息子との戦いに慣れるようになりました。これ

から、聖隸で学んだ修了生の一員としての誇りと責任感を忘れず、日本での学びを活かして頑張っていきたいです。皆様も機会がありましたら重慶にぜひ遊びに来てください。

周明芳



大学 2010年度就職状況について

2010年度に大学を卒業・修了した学生は324名でした。そのうち就職を希望した300名全員が就職し、就職率は100%でした。大学院及び助産学専攻科に進学した学生は15名です。100%の就職率を維持できるのは、就職活動における学生個々の努力に加え、卒業生(先輩)の働きがそれぞれの職場で高く評価され、本学の学生に対する期待として現われているからだと考えられます。

2010年度就職者の約8割弱が、静岡県、愛知県東部に就職しています。大学では、保健医療福祉施設(主に静岡県、愛知県東部)との連携強化を図り、卒業生とのつながりを育て、大学を拠点としたネットワークを築き、学生の希望する就職が確実に実現するよう就職支援を行っています。また、キャリア形成を支援し、学生が専門職として働く自分の将来のイメージ作りと就職に対する意識を向上させることをめざしています。

◇2010年度就職状況◇

(名)

	就職希望者数	就職者数	就職率(%)	進学者
看護学部	136	136	100	14
助産学専攻科	17	17	100	0
社会福祉学部 介護福祉専攻	21	21	100	0
社会福祉学部 社会福祉専攻	50	50	100	0
リハビリテーション学部 理学療法学専攻	31	31	100	1
リハビリテーション学部 作業療法学専攻	25	25	100	0
リハビリテーション学部 言語聴覚学専攻	20	20	100	0
計	300	300	100	15

※各専攻は、2011年4月より学科に改組しています。

◆大学新校舎建設◆

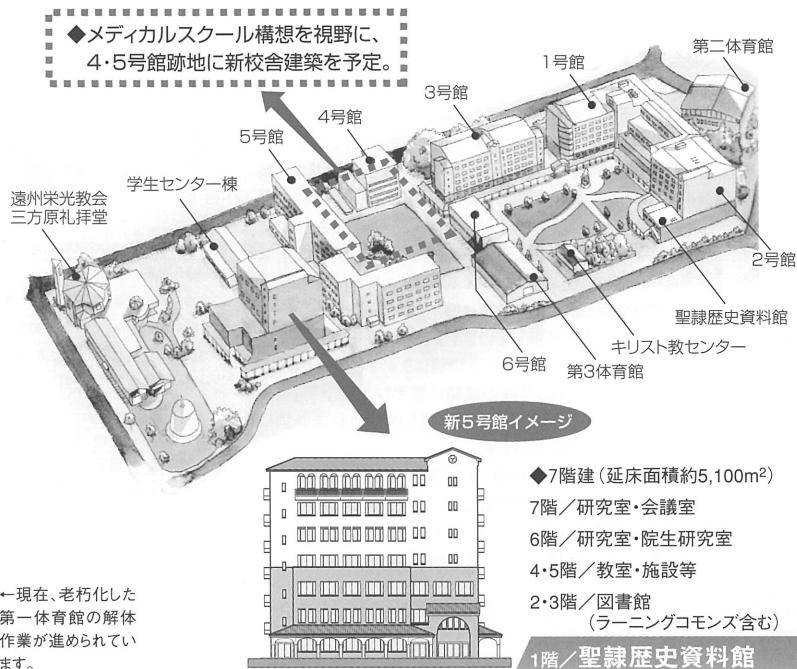
聖隸学園では、2018年度までの「第3次中長期経営計画」に基づき、メディカルスクール構想を視野に入れた「学生の学びの質」を高めるための新校舎設置計画を進めています。

第一期工事として、老朽化した第一体育館を解体し、その跡地に免震構造の7階建ての新校舎を建設します。新校舎には、聖隸のシンボルでもある聖隸歴史資料館を1階に配置し、2・3階を占める図書館には、新しい学習スタイルを実現するラーニングコモンズを設置します。

新校舎の竣工は2012年12月、使用開始は2013年1月を予定しています。



←現在、老朽化した第一体育館の解体作業が進められています。



新 聖隸歴史資料館について

大学新5号館建設に伴い、聖隸歴史資料館は新校舎1階に移設されリニューアルします。新資料館の入口正面には従来通りキリストが弟子の足を洗う絵が設置され、聖隸の精神である「隸人愛」を伝えます。すぐ横には聖隸精神の基盤となる遠州栄光教会が展示され、教会と聖隸との関わりを分かりやすく表現します。そして、創始者 長谷川保と聖隸事業の歴史へと続きます。歴史ゾーンは4期に分けられ、教会や教会を取り巻く人たちが社会福祉事業に取り組み続けてきた過去からの足取りを展示します。聖隸は色々な人々により支えられ、



今日の姿に発展できたことを表現します。続いて「聖隸ターニングポイント」が設置されます。こちらは映像により聖隸グループ各法人の誕生のいきさつやその精神、および聖隸グループとしての結びつきについて解説します。展示ゾーンの最後では、聖隸グループ各法人の具体的な事業内容を紹介します。

新資料館では、テーブルビジョン映像(タッチパネル)など新しいテクノロジーを用いた展示を行うことにより、コンテンツを充実させより多くの情報量を得られるような展示構成となります。新聖隸歴史資料館にどうぞご期待ください。

聖隸クリストファー大学 2012年度入試日程

看護学部
看護学科

リハビリテーション学部
理学療法学科／作業療法学科／言語聴覚学科

社会福祉学部
社会福祉学科／臨床介護福祉学科／こども教育福祉学科

	区分	学部	出願期間	選抜期日	試験場	合格発表
前期	一般入試	看・リハ・社	1/6(金)～1/23(月) 消印有効	2/2(木)	本学・静岡・名古屋	2/10(金)
		社		2/3(金)	本 学	
	大学入試センター試験利用入試	看・リハ・社		個別試験はありません	—	
後期	一般入試	看・リハ・社	2/13(月)～2/21(火) 消印有効	3/2(金)	本 学	3/9(金)
		看		3/2(金)	本 学	
	大学入試センター試験利用入試	社 社会福祉学科 臨床介護福祉学科		個別試験はありません	—	

◎リハビリテーション学部で第2志望、第3志望の学科を登録することができます。◎一般入試(前期)2/2(木)は静岡・名古屋でも受験できます。
◎社会福祉学部は2/2(木)と2/3(金)の両日受験可、試験日も自由選択でき、学科の併願もできます。

◆お問い合わせは《入試・広報センター》へ | TEL. 053-439-1401 FAX. 053-439-1430 | <http://www.seirei.ac.jp>
E-mail:cl-entrance@admin.seirei.ac.jp

▶▶▶▶▶ 2010年度決算における財務状況および2011年度補正予算の概要 ◀◀◀◀◀

◆2010年度決算について

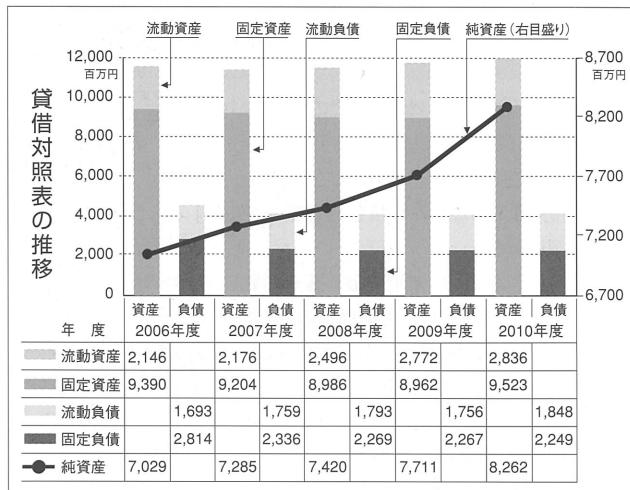
1.法人全体として、財務状況は中長期財務計画を上回って改善を進めています。新規事業は中長期経営計画に基づいて推進しており、当期は認定こども園の開設準備を行ない、2011年4月に開園しました。学校法人全体の収支(帰属収支差額)はプラス15.8%と計画を上回っています。(大学法人の全国平均値は3.7%です。)

*帰属収支差額は損益計算書の当期利益にあります。

2.貸借対照表は資産(土地、建物など)が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示すものです。2010年度末における有利子負債は20億9600万円あり、土地取得・校舎建設など施設設備資金の借入による負債の割合が高いものの、総資産の66.8%は自己資金で賄われており、財務の安定性には十分な余力があります。また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短3年4ヶ月での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えています。なお、こども園創設費は浜松市補助金と自己資金により賄っています。

3.大学の収支は安定した状況を継続しています。「帰属収支差額比率」はプラス19.0%です。(大学部門の全国平均値は6.4%です。)今後の新規事業として2011年度から新5号館の建築に着手し、更にメディカルスクール設置構想を推進しています。何れの計画も中長期財務計画に沿って進めることができると判断しています。

4.中・高等学校では新たにソフトボール場(8,300m²)の取得整備をおこないました。2009年4月には中学校を開設し、渋谷教育学園との連携を通して中高6ヵ年一貫教育を推進しています。収支は中学校完成後の2012年度から改善し、2014年度にはプラスに転じる見通しです。



固定資産	土地、建物、機器備品、図書、奨学貸付金、出資金、施設利用権、敷金など
流動資産	現金預金、未収入金、前払金、立替金
固定負債	長期借入金、退職給与引当金
流動負債	短期借入金、前受金、未払金、預り金

2010年度決算について、詳しくは学園ホームページ(<http://www.seirei.ac.jp/gakuen/>)の財務計算書類、事業報告書をご覧ください。

◆経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、学校法人の経営状態を指標により7つに分類しています。2010年度決算についてこの指標による判定の結果、本学園はA1ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。今後も単年度毎の教育研究環境の改善を図ると共に、中長期経営計画の推進に向かう財務環境作りを行います。

判 定	経営困難状態 (レッドゾーン・イエローボード)			イエロー ゾーンの 予備の段階	正常状態		
	B4	B3	B2	B1	B0	A2	A1
お い つ ぶ れ も く も	在 学 中 に 破 縛 の 可 能 性	蓄 積 資 金 を 食 う て	黒 字 だ が 借 金 が 過 多	黒 字 だ が 借 金 が 過 多	B1 の 一 歩 手 前 の 段 階	更 新 黒 字 を 行 な う に は 不 十 分	十 分 な 黑 字 で き る

判定の指標:

- ①教育研究活動による現・預金の増減が赤字(2年連続)か、黒字か
- ②借入金等外部負債超過額を10年で返済することが可能か、不可能か
- ③帰属収支差額が赤字(2年連続)か、黒字(黒字幅が10%未満、以上)か

◆2011年度補正予算について

1.2011年度は大学の第一体育館を解体し、新5号館の建築に着手します。解体費用と資産処分差額は当期のみ発生する特殊要因であり、当初予算では計1億7300万円計上しているため、収支差額はマイナスになります。

2.大学では、入学者増に伴い401万円の新規財源を計上し、教育用の機器備品や教材の購入に充当しています。また第一体育館の解体費用を3200万円減額し、12月に着工する新5号館の建築工事費のうち3億3000万円を次年度に繰り延べています。これに伴い、建築資金の借入も次年度に繰り延べました。大学部門の収支は当初予算より4500万円改善する見通しです。

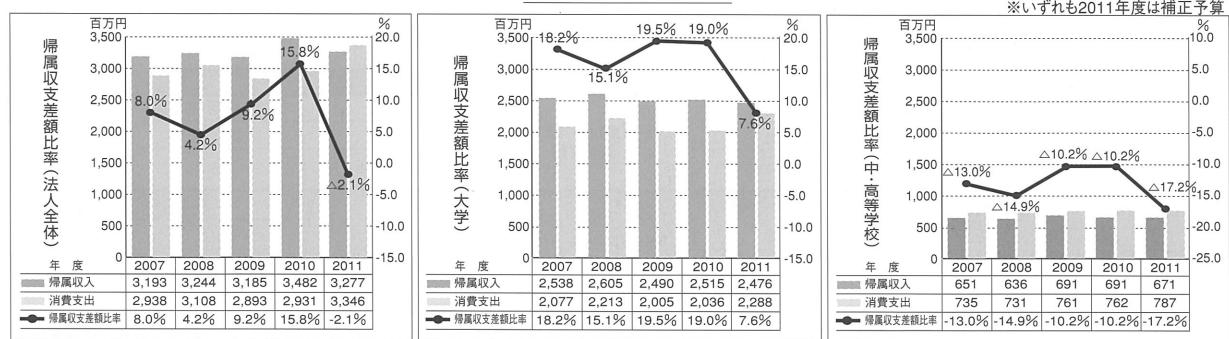
3.中・高等学校では2012年4月からスクールバス路線を1路線新設し4路線にする計画であり、これに伴うバス増車予算を計上しました。

4.東海地震発生時における大学、中・高等学校、こども園のライフラインを確保するため、災害時対策整備費として978万円を新たに計上しました。大学、中高等学校は一時的な滞在場所となるため、井戸水を活用し発電機を備えて水、トイレ、照明を確保する計画です。

5.2011年度決算から退職給与引当金の計上基準が統一され、大学法人は退職金期末要支給額の100%となります(学園としては従来50%を計上)。これに伴う追加引当額は2億3800万円となります。10年の期間をもって計上することが認められますので、今年度は2634万円を追加計上しています。

6.法人全体の帰属収支差額は当初予算より2300万円改善し△6900万円となる見通しです。このマイナスは校舎解体という単年度の特殊要因によるものです。解体費用および資産処分差額を除いた収支差額はプラス8220万円(+2.5%)であり、問題ありません。また資金は期末より2億4200万円増加する見通しです。

※いずれも2011年度は補正予算



聖隸グループは日本各地だけでなく、海外でも事業を展開しています。ひとつはインドにある「聖隸希望の家」、もうひとつはブラジルにある「希望の家福祉協会」です。聖隸学園では毎年8月に実施される教職員夏期研修会で献金を募っています。それぞれの事業のお役に立てることを願い、今年度も9月にUS\$1,800ずつをお送りしました。

献金のご報告